

Main Articles



福岡市内初の老人ホーム

福祉事業を手掛けるメリイは、4カ所目となる住宅型有料老人ホーム「メリイホームたかせ」をオープンした。【3】



ICT建機を6台所有

南雲建設は、「アイ・コンストラクション」を推進。油圧ショベルなど、ICT建機を6台所有している。【6】



自販機ミュージアムが閉館

「サンデンフォレスト」内にある「わくわく自販機ミュージアム」が、12月27日に閉館する。【9】

●食品営業許可施設情報 4面
●美容・理容・クリーニング所構造設備確認情報 4面
●建築計画情報 4面
●隣県不動産競売予告情報 5面
(さいたま地方裁判所越谷支部・長野地方裁判所・長野地方裁判所上田支部
長野地方裁判所飯田支部・長野地方裁判所伊那支部・長野地方裁判所佐久支部
長野地方裁判所松本支部・長野地方裁判所諏訪支部)



650人が参加し、10種目12競技を行った

群馬トヨペット(前橋市石倉町、大山駿作社長)は12日、高崎アリーナ(高崎市和町)で、社内運動会「GP-Fes2018」を開催した。グループ社員約650人が8チームに分かれて参加した。

群馬トヨペット

スポーツの秋に社内イベント

玉入れや綱引き、むかたリレーなど、10種目・12競技で親睦を深めた。同運動会は、全社員が一堂に集う場をつくることや、親睦を深めることを目的に開催しており、今年が6回目。昨年から雨天を考慮し、高崎アリーナで行われていた。参加した社員は「離れた店舗で電話などでのやり取りはあるが、会ったことがない人と実際に会って話ができる機会としてとても良いと感じている」と話した。家族の参加競技はないが、会場には子供が遊べるブースも設置され、親子で運動会を楽しむ様子も見られた。

高崎信用金庫

高崎信用金庫(高崎市飯塚町、新井久男理事長)は18日、従業員組合を主体としたスポーツイベント「たかしんソフトボール大会」をニユーサンピアで行った。今年が初開催で、役員30人、健康経営宣言を制定。3人が参加した。同金庫では、職員の健康を「経営資源」ととらえて、職員が健康であることが、労働生産性が向上する、という考えに基づき、17年10月に「高崎信用金庫健康経営宣言」を制定。



支店対抗で行い、チームワーク向上や親睦を深めた

前橋駅前カラオケ青柳旅館館サロンの(221)5524

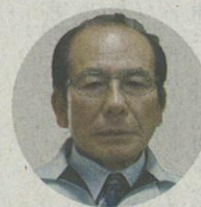
介護・医療分野に本格参入

各種電子制御回路やLED表示機などの自社商品開発を手掛ける群馬電機(みどり市大間々町大間々760、西村 稔社長 ☎0277-73-2417)は、介護・医療分野に本格参入する。第1弾として、12月1日に遠距離介護を支援する双方向会話ロボット「ファミリーコミュニケーションシリーズ」を発売する。小型のぬいぐるみの中に音声認識のできる装置を内蔵。マイクで音声を拾い内容を理解し、子供の声的確な返答を行うもので、独り暮らしの高齢者に日常的な発語の機会を創出する。また、録音した音声を指定時刻に再生することで、服薬や戸締りなどを支援する。年間販売目標は3000個。(山田誠一)

双方向会話ロボを発売

高齢者支援を目指す

群馬電機



上野会長

同社は新分野への参入に向け、15年にプロジェクトチームを社内立ち上げ、高齢者向けのぬいぐるみを使ったコミュニケーションロボットを開発を進めてきた。



初の商品化となるのが「ファミリーコミュニケーションシリーズ」の豆柴犬タイプの「ハチ」(4300円)と、ハリネズミタイプの「ハリ」(5100円)の2種類で価格はいずれも1万9800円(税別)。ぬいぐるみに搭載した装置には約500通りの会話があり、8歳児の声を収録されており、ある程度の連続会話が可能となる。内蔵の音声だけでなく、15秒間の音声を10件録音し、自由に再生することができる。家族の声による「薬の時間だよ。忘れないで」「寝る前に玄関の鍵を閉めてね」などのメッセージを、タイマーで定時に自動再生することが可能だ。さらに「〇番を再生」と話すと、好きな時間に家族などの声を聞くことができる。同社では家族と離れた暮らしの高齢者へのコミュニケーションツールとして同商品を開発。福祉・介護チームの小川健さんは、高齢者施設などで14年間介護の現場を経験。

広さ4倍、接骨院を併

トレーニングジムのワンズ・ストレッチングス 26日、移転オープン

福祉用具の企画・開発に携わりたいと昨年12月に入社。小川さんは「介護に関わる家族や介護職員を支える用具を開発していきたい」と述べる。また、同社の上野文雄会長は「利益というよりも、高齢者を大切にすることが社会の一環として考えている」と話している。

リサイクル店をグランドオープン「エコモンスター」

フランチャイズ展開も

廃棄物収集などを手掛ける丸越(前橋市若宮町、堀越正和社長)は10日、リサイクルショップ「エコモンスター」(同市三俣町3-12)をグランドオープンした。同店は、リサイクル品の販売だけでなく、古物の買取や、リサイクル品の修理なども行う。また、同店は、リサイクル品の販売だけでなく、古物の買取や、リサイクル品の修理なども行う。

社長訪問



試行錯誤

「諦めない。試行錯誤」といふ言葉、どうやらたまたまここにたどり着くかと思える。生産管理システムやIoT関連システムを開発を手掛ける根立さとしは、脱サラで独立して以降、多くの困難を乗り越えてきたが、59歳正社員になった今も道半ばだ。